



2020年7月30日

各 位

会 社 名 富士通フロンテック株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 川上 博彦
(コード番号 6945 東証第2部)
問 合 せ 先 経営企画室長 堀部 達夫
(TEL042-377-2544)

当社の親会社名 富士通株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 時田 隆仁
(コード番号 6702 東証、名証各第1部)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2020年5月13日に公表しました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の通期連結業績予想につきまして、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期の連結業績予想値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	93,200	500	200	100	4円17銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前年度実績 (2020年3月期)	90,941	1,203	857	△728	△30円40銭

2. 修正の理由

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響により合理的な業績予想が困難なことから未定としておりました。今般、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、2021年3月期通期連結業績予想を算定いたしましたので、上記のとおり公表いたします。

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う国内外のお客様の投資時期の見直し、公営競技の無観客開催や場外発売所の休止影響が続くと想定しております。一方、新しい生活様式が求められる中、非接触を追い風としたRFID、手のひら静脈認証、キャッシュレス決済へのニーズの高まり、加えて、年度後半には、新500円硬貨発行に伴う国内金融及び公共向けの改鋳需要が見込まれることなどにより前年度から増収となる見込みです。

損益面では、昨年実施したコスト構造改革効果に加えて改鋳需要を始めとした増収効果はあるものの、新型コロナウイルスによる減収影響が国内外に広がったこと、流通店舗向けATMサービスの需要減少などが重なり、前年度から減益となる見込みです。

以 上